単 元 名	Unit 4　　日本大好き	配当時間	3～5時間
単元の目標	(1) 好きな教科や毎日の朝食について問答しようとする。 (2) o疑問詞whatで始まる疑問文やbe動詞の形容詞補語を用いて身近なことが表現できる。 o好きな教科や毎日の朝食について相手に尋ねたり，答えたりすることができる。 (3) 好きな教科や毎日の朝食についてのマークとデミの対話の内容を理解することができる。 (4) 疑問詞whatで始まる疑問文やbe動詞の形容詞補語の用法を理解することができる。		

☆本単元では，疑問詞whatや形容詞補語を用いて，好きな教科や毎日の朝食について，相手に尋ねたり，答えたりすることができるようにさせたい。

①★**Part 1** 折り紙で表されたものが何であるかを知り，また，What is ～?を用いて問答する。 ②★**Part 2** マークとデミの好きな教科を知り，ある教科について，自分が感じることを表現する。 評be動詞の形容詞補語を用いて身近なものを表現することができる。（発表，観察） ③★**Part 3** マークとデミが朝食に何を食べるかを知り，What do you ～?を用いて問答する。 朝食に同じものを食べている友達をさがそう。 評疑問詞whatで始まる疑問文を使って問答できる。（発表，観察） ④ **単元のまとめ(1)** 疑問詞whatを用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑤ **単元のまとめ(2)** 学習事項をまとめ，簡単なspeaking testを受ける。	①・ＪＴＥとのモデルダイアログ ・What is ～?を用いた，身近なものや写真，絵等についての質問 ②・好きな教科についてのコミュニケーション活動での，ＪＴＥとのモデル・ダイアログ及び活動への参加 ③・朝食についてのＪＴＥとの対話 ・What do you have ～?を用いたコミュニケーション活動での，ＪＴＥとのモデル・ダイアログ及び活動への参加 ④・コミュニケーション活動での，ＪＴＥとのモデル・ダイアログ及び活動への参加 ⑤・What is ～?等を用いたspeaking testの試験官及び評価

o①では，生徒が身近にあるあらゆるものを尋ねたくなる。これは語いを広げる絶好の機会でもあるので，できるだけ教師が支援して活発に活動させたい。また，ＡＬＴとのティーム・ティーチングにおいては，How do you say ～ in English?を使って知りたい英語を聞き出すなどの活動も加えたい。
o③のYTの活動等インタビュー活動は，ただ必要な疑問文をぶつけるだけでなく，SP1,2で学習したExcuse me. Thank you. You're welcome. Pardon?なども随時使えるようにアドバイスするとよい。
o英語学習が一方的に外国の文化や習慣を知る機会ではなく，日本の文化や習慣との違いを知り，その良さを海外にアピールするためにもあることを知らせ，自国の文化に対する興味・関心を高めるよう指導する。